

2021年6月18日

関係各位

北里大学保健衛生専門学院
学院長 遠藤 尚光

2020年度「学校関係者評価会議」評価結果について

北里大学保健衛生専門学院学校評価規程（以下「規程」という。）第9条（学校関係者評価）に基づき、2020年度の学校関係者評価会議を開催いたしました。その結果について、規程第14条（学校関係者評価の評価結果）に基づき、別添のとおり、報告書を作成しましたのでご確認ください。

この報告書は規程第17条（学校関係者評価結果の公表）の規定により、本学院ホームページで公開し、社会に広く公表します。

また、学校関係者評価会議構成員の皆様には、公私ともにご多忙のところ、数多くの貴重なご意見、ご助言を賜り深謝いたします。本学院では本評価結果を活用し、教育活動及び学校運営等の質の保証と向上に継続的に努めて参ります。

記

1 学校関係者評価会議の概要：

当初、2021年6月上旬の開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、感染拡大防止の観点から、書面による開催としました。

【開催期間：5月26日（関係書類発送）～6月7日（回答期限）】

（1）評価をお願いする事項

項目別自己評価表〔専修学校における学校評価ガイドライン様式〕

（2）回答方法

「回答書」に意見等を記入、捺印の上、6月7日（月）までに回答

（3）送付書類

1) 評価対象書類

①2020年度項目別自己評価表〔専修学校における学校評価ガイドライン様式〕

2) 評価基礎資料

①2020年度事業業績（本学院部分のみ抜粋）

②自己点検報告書（4学科分）

③財務状況に関する資料

3) 参考資料

①2020年度事業計画（本学院部分のみ抜粋）

②2020年度学院行事報告

③北里大学保健衛生専門学院学校評価規程

2 会議構成員：

- (1) 南魚沼市総務部企画政策課長
- (2) 北里アパート組合長
- (3) 北里大学保健衛生専門学院同窓会長
- (4) 北里大学保健衛生専門学院 PPA 会長
- (5) 新潟県立小出高等学校長
- (6) 魚沼市立小出病院事務長

※任期：2020年4月1日～2022年3月31日

3 評価結果：

2020年度 項目別自己点検表（北里大学保健衛生専門学院）専修学校における学校評価ガイドライン様式：学校関係者評価会議での「④意見・助言」のとおり。

以 上

2020年度 項目別自己評価表（北里大学保健衛生専門学院）
〔専修学校における学校評価ガイドライン様式〕

1. 学校の教育目標

北里大学保健衛生専門学院は、北里大学建学の精神及び生命科学領域の教育研究に則り、臨床検査技師、管理栄養士、看護師、保健師、臨床工学技士に関する専門教育を行い、必要な知識技術を教授するとともに、豊かな教養と人格を育み、科学技術の発達と文化の向上並びに地域の健康と福祉の増進に寄与する人材を育成する。

【臨床検査技師養成科】

臨床検査技師養成科は、医学検査を実践できる十分な基礎的知識と技術を修得し、各種現場での高度な内容に対応できる能力を養うとともに、医療人の一員としての人格、倫理観、使命感を持ち、他の医療職種の人たちとチームを組み活躍できる人材を養成する。

【管理栄養科】

管理栄養科は、豊かな人間性をそなえ、疾病の予防、回復、医療・福祉等に貢献でき、QOLの向上を目指して栄養の評価・判定に基づく確かな栄養補給、栄養教育、他領域との連携ができる管理栄養士の養成を目的とする。そのための教育研究上の目的は、①管理栄養士の資格を取得するために必要な知識・技能の習得、②栄養に関わる職業人としての倫理観の習得、③チーム医療の一員として必要な栄養管理や栄養指導等実践力の習得、④地域の特性を理解し、地域に貢献できる力を培うこととする。

【保健看護科】

保健看護科は、学祖北里柴三郎博士が一生を通じて顕現した生命の尊重と人間愛を基礎とする建学の精神に基づき、看護を志す人々がより豊かな知性と感性を追求し、個人及び集団に対し、それをとりまく環境を含めて総合的に働きかけ、人々のよりよい健康を実現することに貢献できる、看護師、保健師を養成する。

【臨床工学専攻科】

臨床工学専攻科は、医療機器が多様化する現場において、その変化に対応できる応用が可能な基礎知識を取得し、適切な判断ができる能力を養うとともに、医療人の一員として、患者さまに安心感を与えることのできる人格・倫理観・使命感を持ち、他の医療職種の人たちと協同してチーム医療の現場で活躍できる人材を養成する。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

- (1) 志願者・入学者確保と入学定員厳守への取組
- (2) 国家試験合格率向上への取組（新卒者）
- (3) 就職率向上への取組
- (4) 低学年次生に対する教育の見直し及び学生支援体制の強化による退学率削減への取組
- (5) 教育の質の向上に向けた取組

3. 評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目標

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1			
・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4	3	2	1
・学校における職業教育の特色は明確か	4	3	2	1
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4	3	2	1
・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4	3	2	1
・各学科の教育目標・育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4	3	2	1

①課題

理念等の保護者への周知については十分とは言えず、改善の余地がある。

②今後の改善方策

保護者への周知について、PPA総会（保護者と学院教職員組織）等での情報提供やパンフレット・ホームページにより積極的に周知する。

③特記事項

将来構想については近年、法人本部を含めた様々な議論が行われているが、18歳人口の減少、人口減少・地方衰退といった社会情勢の中で、高等教育機関として新潟県や魚沼地域に貢献できる学校となるべく検討を進める。

④意見・助言

なし

(2) 学校運営

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3 やや不適切… 2、不適切… 1			
・目的等に沿った運営方針が策定されているか	4	3	2	1
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4	3	2	1
・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4	3	2	1
・人事、給与に関する規程等は整備されているか	4	3	2	1
・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4	3	2	1
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	3	2	1
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4	3	2	1
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	3	2	1

①課題

2020年度においては新型コロナウイルス感染症対策により、遠隔授業の対応を行った。その中で浮き彫りになった、オンラインでの教育のメリットとデメリットを踏まえた改善・改革が必要である。

②今後の改善方策

教育環境の向上とオンライン化の促進を目的とした、学生・教職員用ポータルサイト構築を重点事業として事業計画に上掲し、2021年度からの2年計画で教育の情報化に取り組む。

③特記事項

2020年度には、学校法人の経営・意思決定の基本方針・姿勢を、社会やステークホルダーに提示して説明責任を果たすことを目的として「私立大学版ガバナンス・コード」への対応が実施され、その結果をホームページに公開している。

④意見・助言

意見①
オンライン授業では様々なご苦労があると思いますが、学生が不安にならないような取り組みをお願いいたします。

意見②
オンラインでの教育には限界があると感じている。対面授業でしか伝わらないこともあると思うので、感染対策を徹底しながら、工夫した運営をしていただければ良いと思う。

意見③
実態は承知していませんが、自己点検表において、学科によっては教員確保に苦労されているように感じました。運営面の事情もあるかと思いますが、教員の充実が授業の質や優秀な人材の育成・学生の確保にもつながるのではないかと思います。

(3) 教育活動

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1			
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4	3	2	1
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4	3	2	1
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	3	2	1
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4	3	2	1
・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4	3	2	1
・関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4	3	2	1
・授業評価の実施・評価体制はあるか	4	3	2	1
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	3	2	1
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4	3	2	1
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4	3	2	1
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	3	2	1
・関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	4	3	2	1
・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4	3	2	1
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	4	3	2	1

①課題

指定規則の改正に伴い、臨床検査技師養成科、保健看護科、臨床工学専攻科で新カリキュラムの導入が予定されており、適切な対応が必要である。

②今後の改善方策

教育理念等に沿った教育課程が体系的に編成されるよう、実習先関係者の意見を聴きながら学内で十分な協議を行う。

③特記事項

「職業実践専門課程」への申請は行っていないため、学院独自の制度として外部関係者の意見を取り入れてカリキュラム等の見直しは行われていないが、2020年度から実施している「学校関係者評価」で得られる外部者の意見を学校運営の参考にする。

④意見・助言

意見①

評価項目の評価が低い教員のスキルアップや育成は重要課題と思います。インセンティブを与えるような具体的な取組を検討いただければと思います。

(4) 学修成果

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3 やや不適切… 2、不適切… 1			
・就職率の向上が図られているか	4	3	2	1
・資格取得率の向上が図られているか	4	3	2	1
・退学率の低減が図られているか	4	3	2	1
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	3	2	1
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4	3	2	1

①課題

退学率について、「低学年次生に対する教育の見直し及び学生支援体制の強化による退学率削減への取組」を重点事業として2018年度から3年計画で行ったが、退学率が2018年度：6.0%、2019年度：5.7%、2020年度：3.2%となり、目標の2.0%未満を達成できなかった。学科により退学率が異なることについても検証と対応が必要である。

②今後の改善方策

退学率の低減について、2020年度で計画期間が終了したが、これまでの効果検証と改善に加え、引き続き、①1・2年次講義内容の見直し（医療従事者を目指す意識づけ、入学前教育の実質化、学習支援・個別指導・補習講義の実施等）、②学生相談室利用率の向上と相談コマ数増加に向けた各種検討、③北里大学健康管理センターとの連携の強化促進を基本としながら、学生の状況に応じた臨機の対応を行い、学院全体で退学率の低減に取り組む。

③特記事項

就職率：臨床検査技師養成科100.0%、管理栄養科100.0%、保健看護科100.0%、臨床工学専攻科96.2%
国家試験合格率：臨床検査技師92.1%、管理栄養士88.5%、保健師87.2%、看護師97.4%、臨床工学技士96.3%

④意見・助言

意見①
退学率の低減項目について低い評価となっているが、過去三年間をみると確実に減少している。目標2%も厳しい設定と思うが、学院の取り組みの成果が表れていると思う。

意見②
退学率の減少が少なからず経営にも左右されると思う。学院のイメージにも影響されると思うので、引き続き努力していただきたい。

意見③
国家試験合格率が全国平均を下回ることは学生の確保にも影響すると思います。悪循環とならないよう、具体的取組を検討いただければと思います。

(5) 学生支援

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3 やや不適切… 2、不適切… 1			
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	3	2	1
・学生相談に関する体制は整備されているか	4	3	2	1
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4	3	2	1
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	3	2	1
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	3	2	1
・学生の生活環境への支援は行われているか	4	3	2	1
・保護者と適切に連携しているか	4	3	2	1
・卒業生への支援体制はあるか	4	3	2	1
・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4	3	2	1

①課題

2020年度末で学生相談室カウンセラーが1名退職となり、欠員が発生している。

②今後の改善方策

後任者の確保、現任者の相談コマ数の有効利用等により相談を必要とする学生の不利益とならないように対応を行う。

③特記事項

2020年度はコロナ対応により、例年以上に学生支援の重要性を認識した。特に4月11日から実施した遠隔授業による在宅学習時における学生支援に今日職員一丸となって取組んだ。

④意見・助言

意見①

学生支援の充実は退学率減少にも関連してくると思うので、学生相談室カウンセラーの欠員は早急に改善した方が良い。

意見②

小出高校の医療専攻選抜生徒への支援に感謝いたします。今年度もご協力をお願いします。

(6) 教育環境

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3 やや不適切… 2、不適切… 1			
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	3	2	1
・学内外の実習施設、インターンシップ等について十分な教育体制を整備しているか	4	3	2	1
・防災に対する体制は整備されているか	4	3	2	1

①課題

機器備品の一部が経年劣化により動作不良に陥るようになってきている。今後の教育に影響を与えないように計画的に機器の入れ替えを行う必要がある。

②今後の改善方策

教育上必要な機械器具等について、計画的に更新を行う。

③特記事項

防災・減災について、防災委員会、自衛消防隊を整備して組織的に防災対策を行っている。定期的な防災訓練を実施するとともに、計画的な防災備蓄品の整備も進めている。

④意見・助言

なし

(7) 学生の受入れ募集

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3 やや不適切… 2、不適切… 1			
・高等学校等接続する機関に対する情報提供等の取組が行われているか	4	3	2	1
・学生募集活動は、適正に行われているか	4	3	2	1
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4	3	2	1
・学納金は妥当なものとなっているか	4	3	2	1

①課題

学生募集活動、入学者選抜は全て適正に実施されているものの、一部の学科において定員未充足が恒常化しつつある。

②今後の改善方策

①入試制度、入試時期の見直し、②学生募集活動の強化（定時制、通信制高校へのアプローチ及び指定校選定）、③受験校選択の重要な要素となる国家試験合格率と就職率の向上に加え、④南魚沼市との連携協力協議会での協議を中心とした地元自治体や関係機関との連携強化、⑤コロナ禍におけるオンライン相談会の実施にも注力する。

③特記事項

「コロナ禍」により2020年度においては高校訪問や進学ガイダンスといった学生募集活動の機会が失われた。代対策として、オンライン相談会の実施等の対応を行ったが意図した効果が得られなかった。

④意見・助言

意見①

医療系の学校が増えてきており、北里ならではの特色を前面に出して募集活動に力を入れて、定員数確保を目指していただきたい。

意見②

体験学習の機会の提供や圏域内の高校を中心に、生徒に対して直接講義する機会を依頼してみてもはいかがでしょうか。

(8) 財務

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3 やや不適切… 2、不適切… 1			
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	3	2	1
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	3	2	1
・財務について会計監査が適正に行われているか	4	3	2	1
・財務情報公開の体制整備はできているか	4	3	2	1

①課題

在学生の減少傾向が継続しており、2021年度は支出超過決算となる見通しである。

②今後の改善方策

学生生徒納付金収入が収入の多くを占める本学院にとって学生を確保することと、きめ細かい教育・学生対応を行うことで退学者を最小限にとどめることこそが安定運営のための道であるとの認識で各種事業を展開する。

③特記事項

④意見・助言

意見①

退学者の減少、募集定員確保が支出超過改善につながると思う。引き続き努力をお願いしたい。

意見②

事業活動収支計算書<部門別表>は分かりやすかったです。今後もお願いしたいです。

(9) 法令等の遵守

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3 やや不適切… 2、不適切… 1			
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	3	2	1
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	3	2	1
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4	3	2	1
・自己評価結果を公開しているか	4	3	2	1

①課題

一部の学科で教員の欠員が発生している。

②今後の改善方策

人員計画どおりの教員数を確保すべく、引き続き教員の採用活動を展開するとともに、必要に応じて法人本部の関係部署や北里大学病院とも連携を図りながら対応する。

③特記事項

④意見・助言

意見①

教員の欠員は、学生支援の低下につながり、国家試験合格率低下により、定員確保も難しくなります。早急に対策を講じていただきたい。

(10) 社会貢献・地域貢献

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1			
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	3	2	1
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4	3	2	1
・地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4	3	2	1

①課題

地域貢献、学生ボランティア、公開講座等による地域貢献など、一定の成果を上げているが改善の余地がある。
しかしながら、2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、公開講座や学園祭の機会が失われ、社会・地域貢献が十分に行えなかった。

②今後の改善方策

南魚沼市、JAをはじめとした周辺団体からの各種要請への対応や、学院周辺で開催されるスポーツイベント（グルメマラソン・グルメライド）のボランティア活動の推奨を促進する。

③特記事項

18歳人口の減少、人口減少・地方衰退といった社会情勢の中で、高等教育機関として新潟県や魚沼地域に貢献できる学校となるべく検討を進める。

④意見・助言

意見①
新型コロナウイルス感染症による活動制限があり、大変だったと思います。今後も地域貢献・ボランティア活動に積極的であっていただきたい。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

本評価表の各評価項目に記載のとおり、学校運営は概ね良好であると評価できる。一方で18歳人口に伴う入学志願者の確保状況や、国家試験合格率など、対策を講じるべき課題も存在する。本学院教職員の英知を結集して対応することはもちろん、学校法人との綿密な連携を図ることで、より効果的で実効性のある対策を立案し実施していく。